

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和8年2月20日

計画の名称	守口市大日都市核地区都市再生整備計画													
計画の期間	令和元年度 ～ 令和03年度 （3年間）										重点配分対象の該当		○	
交付対象	守口市													
計画の目標	・大目標：都市核としてさらなる拠点の魅力の向上 ・目標：地域における賑わいの創出と教育・子育て環境の向上													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		833	A	833	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		番号１：H28 番号２：H30		番号１：R 3 番号２：R 4
1	図書回転率			
	図書回転率 図書館の蔵書の年間回転率 年間貸出冊数/蔵書冊数	1.36回		1.60回
2	公園を利用したイベントの回数			
	当該公園を利用したイベントの年間回数 公園の再整備による利用促進	3 回		7 回
3				
4				
5				
6				

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		R01	R02	R03	R04	R05													
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	守口市	直接	守口市	—	—	守口市大日都市核地区都市再生整備計画	区域面積 A=33ha	守口市	■	■	■			833		策定済
												小計						833	
											合計						833		

事後評価

○事後評価の実施地整、実施時期

事後評価の実施体制

守口市が実施した。

事後評価の実施時期

令和4年度

公表の方法

市のホームページに掲載することによる。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

当初の増冊予定以上に増冊させたことで、目標の回転率を達成させることが出来なかった。しかし、コロナ禍においても、従前値を上回ることができた。
隣接している図書館と一体的な整備を行い、広場スペースを確保したことにより、公園で本の読み聞かせイベントなどを開催し、地域住民のコミュニティ形成の場になっている。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

コロナ渦にも関わらず貸出数が増加したことから図書館の利用者数は実質的に増加していると考えられ、図書サービスの向上や地域の賑わいの創出につながったと考えられる。

○特記事項（今後の方針等）

今後のまちづくりの方策

- ・利用しやすい環境を維持するために、定期的な公園整備を行う。
- ・図書館でのイベントを増加し、新たな利用者の増加につなげる。
- ・イベントの開催時に、図書館と公園で連携し、新たな利用者の増加につなげる。
- ・広報等の掲載により、図書館や公園の認知度を向上させる。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	図書回転率		
	最終目標値	1.60回	当初の増冊予定以上に増冊させたことで、目標の回転率を達成させることが出来なかった。
	最終実績値	1.44回	
2	公園を利用したイベントの回数		
	最終目標値	7回	
	最終実績値	7回	
3			
	最終目標値		
	最終実績値		
4			
	最終目標値		
	最終実績値		
5			
	最終目標値		
	最終実績値		
6			
	最終目標値		
	最終実績値		